

# 島根における「地質の日」のイベント：山陰・島根ジオサイト地質百選シンポジウムと隠岐産黒曜石による石器づくり体験教室

島根地質百選選定委員会<sup>1)</sup>

## 1. 地質百選, ジオパークと「地質の日」のイベント

島根県には長い海岸線とともに山地, 湖沼, 河川など風光明媚な景観がたくさん見られます。これらを取り巻く地質も多様で, 日本列島の骨格をつくるたいへん古い岩石から, 数千年前の火山の噴出物まで, また, 学術的にも貴重なものが数多くあります。これらの一部は天然記念物などに指定され, 一般にもよく知られていますが, 一方では専門家以外には知られず, 埋もれたままの場所も数多くあるといえます。

近年, 全国地質調査業協会連合会などが中心になり「日本列島ジオサイト地質百選」が刊行され, 日本全

国から83ヶ所のジオサイトが選ばれました。この中に, 島根県内からは「隠岐島前カルデラ」と「石見銀山」の2ヶ所が選定されていますが, 県内にはほかにも貴重で重要なジオサイトが数多く存在します(写真1)。

そこで, このような貴重なジオサイトを保全するとともに, 多くの人々に地球や地質の知識と面白さを知ってもらい, また, 地域の観光資源化・活性化を促し, ひいては自然環境保護, 自然災害予防などにも役立てたいと考え, 島根県版ジオサイト地質百選を選定することになりました。地質百選の選定は, 島根大学総合理工学部地球資源環境学科と中国地質調査業協会島根県支部が中心となり島根地質百選選定委員会を組織し, この委員会が行っています。



写真1 島根県隠岐の島町布施の「トカゲ岩」(写真提供:隠岐の島町)。岩の形がちょうどトカゲが崖をよじ登っているように見えるところから「トカゲ岩」と名付けられました。崖の部分は流紋岩質火山砕屑岩, トカゲの部分はアノーソクレス響岩質粗面斑岩の岩脈です。

1) 中国地質調査業協会島根支部事務局気付  
690-0816 島根県松江市北陵41番地

キーワード: 地質の日, ジオパーク, ジオサイト, 地質百選, 体験教室, 隠岐, 黒曜石(黒曜石)

一方、とくに貴重で、地域的にまとまっているジオサイトについて、ジオパークに登録しようとする活動が日本各地で行われています。島根県内では、「山陰・島根ジオパーク構想」(同ホームページ：<http://www.geo.riko.shimane-u.ac.jp/geopark/>)として、隠岐群島、松江地域、出雲地域、大田地域、浜田地域、益田地域などを「山陰・島根ジオパーク」のクラスター群ととらえ、整備のできたクラスターからジオパークへの登録をめざすことを考えています。島根地質百選に選定されたジオサイトの多くは発展的にジオパークの指定地域となる予定です。したがって、この島根地質百選の選定は、「山陰・島根ジオパーク構想」を支援する事業として位置づけることができます。

このような背景のもと、島根地質百選選定委員会、島根大学総合理工学部地球資源環境学教室と隠岐・風待ち海道倶楽部(ホームページ：<http://kazematikaidou.gozaru.jp/index.html>)が主催し、あらたに制定された「地質の日」の企画として、「山陰・島根ジオサイト地質百選シンポジウム」と「隠岐産黒耀石による石器づくり体験教室」を地質の日の5月10日に島根大学総合理工学部を会場として開催しました。当日は両方の企画にスタッフもあわせて100人以上の参加者があり、小学生から大人まで、それぞれの立場で島根の地質に触れ、楽しむことができました。

## 2. 山陰・島根ジオサイト地質百選シンポジウム

このシンポジウムには一般市民のほか地質関連企業、博物館、自治体そして大学から、島根の地質やジ



写真2 島根大学総合理工学部を会場に行われた山陰・島根ジオサイト地質百選シンポジウム。



写真3 山陰・島根ジオサイト地質百選のうち50のジオサイトの選定結果の発表。

オパークに興味のある人が多数参加しました(写真2)。シンポジウムでは、まず島根県の地質のあらましの解説と島根地質百選選定委員会が選定した50のジオサイトが発表されました(写真3：選定された50のジオサイトは山陰・島根ジオサイト地質百選のホームページ：<http://www.geo.riko.shimane-u.ac.jp/geopark/geosite.html>において確認できます)。50のジオサイトの中には、隠岐クラスターの「布施屏風岩とトカゲ岩」(写真1)、「国賀海岸」、松江クラスターの



写真4 山陰・島根ジオサイト地質百選のホームページからダウンロードできるジオサイトのPDFファイル(石見銀山)。

質学的意義、また、ジオサイトへのアクセス方法がわかりやすく示されています。シンポジウム当日の5月10日には「布施屏風岩とトカゲ岩」、「日御碕」など5カ所のジオサイトがホームページ上に公開され、いつでも閲覧ができるようになりました。また、公開されたジオサイトの解説はA3サイズに編集されたPDFファイルとしてダウンロードすることもできます(写真4)。このようなジオサイトの解説は5月10日以降も毎月10日に6~8サイトずつ公開され、11月までに38のジオサイトの解説の閲覧とPDFファイルのダウンロードが可能になっています。



写真5 日本だけでなく世界各地の黒曜石や縄文時代の石器の展示。

シンポジウムではその後、島根地質百選選定委員会の委員から、各クラスターの代表的なジオサイトの紹介がされました。シンポジウムの最後には、山陰・島根ジオサイト地質百選の残りの50のジオサイトの一般公募が行われました。尚、この日から8月31日のジオサイト推薦の締め切り日までに、52人の応募者から97件のジオサイトの推薦がされました。現在残りの50のジオサイトの選定作業が進められています。

### 3. 隠岐産黒曜石による石器づくり体験教室

「宍道断層(鹿島断層)」、「大根島の溶岩トンネル」、出雲クラスターの「日御碕」、「カナナ流しとたたら製鉄」、大田クラスターの「石見銀山」「三瓶小豆原埋没林」、浜田クラスターの「石見畳ヶ浦」「黄長石霞石玄武岩」などが含まれています。地質百選に選ばれたジオサイトは山陰・島根ジオサイト地質百選のホームページに、その写真とともにジオサイトの特徴やみどころ、地

一方、シンポジウムとは別会場において、山陰・島根ジオサイト地質百選にも選定された隠岐島後産の黒曜石を使った石器づくり体験教室が行われました。体験教室はそれぞれ20人を定員とし、1回90分のコースを2回行いました。

体験教室の会場には、隠岐の島町八幡黒曜石店と島根大学ミュージアムの協力により、世界各地の黒曜

石の標本や縄文時代の石器が展示されました(写真5)。参加者はこれらの展示の説明を受けた後、黒曜石の原石に鹿の角の先端を強く押し当てて薄くはがしていく、という方法で石器づくりに挑戦しました(写真6, 7)。できあがった石器はカッターナイフのように何枚も重ねた紙をきれいに切ることでできるようなもので、その出来ばえに参加者はみな満足の様子でした。



#### 4. 次の「地質の日」にむけて

今回の島根における「地質の日」のイベントには小学生から大人まで多くの一般市民が参加し、またこのイベントが新聞やテレビでも広く報道されました。その結果、子供たちも含めて一般市民の間に地質に対するあらたな興味や関心が発掘されたといえます。

来年の「地質の日」までには山陰・島根ジオサイト地質百選もすべて選定されているでしょうし、隠岐クラスターのジオパーク登録への動きも具体化しているでしょう。これらをふまえて、次の「地質の日」にはさらに充実したイベントを企画していきたく思っています。

最後に、「地質の日」のイベントにあたって会場を提供していただいた島根大学総合理工学部、会場設営の資材を貸与いただいた教育学部附属教育支援センター、展示資料を準備していただいた八幡黒曜石店と島根大学ミュージアムには誌面を借りて感謝いたします。

写真6 隠岐・風待ち海道倶楽部メンバーによる黒曜石を使った石器の作り方の説明。小学生の子供たちも真剣に鹿の角で黒曜石を剥ぎ取っていく方法を学んでいます。



写真7 お母さんも子供たちもうまく石器ができたかなあ？

The Committee for Selection of 100 Geological Sites in Shimane (2009) : Geology Day's event in Shimane: A symposium for the selection of the 100 geological sites in the San'in-Shimane region, and a workshop experience for making stone implements using obsidian from the Oki Islands.

<受付：2008年11月28日>